

公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会

事業報告

平成27年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(事業報告)	(頁)
I 概況	1
II 事業活動	4
1 概要	
III 法人の管理運営	6
1 理事会	
2 評議員会	
3 監査	
IV 附属明細書	9

I 概 況

長寿社会についての意識啓発及び高齢者の生きがいと健康づくりの推進等に関する事業を行い、もって「ぬくもりと活力のある長寿社会」の建設に資することを目的に、幅広い取り組みを積極的に進めてきた。

とりわけ、シルバー大学校では、本県に移住した方を対象に学習機会を提供するため、各コースの定員に対しコース定員の5%を上限とした「徳島県移住優先枠」を設定した。

また、平成27年11月には、関西広域連合内シルバー大学校の交流事業を本県で開催するとともに、県下9校すべてのシルバー大学校に設立された連合OB会の相互の交流と活性化を図るため、各校OB会合同グラウンド・ゴルフ交流大会の開催を支援したところである。

加えて、生きがいづくり推進員活動やシルバー大学校及び大学院OB会活動において長年に渡り貢献された方に対して、平成28年2月に開催したシルバー大学校大学祭において65名の方に感謝状を贈呈した。

さらに、県健康福祉祭を県内3圏域で開催するとともに、全国健康福祉祭やまぐち大会へ選手等の派遣を行った。

また、情報誌「いのち輝く」、ホームページなどによる長寿社会に関する様々な情報の提供や、シルバー大学校へ通学が困難な方への放送講座の開講及び地域訪問講座の開催、高齢者の方々の福祉、健康、法律などの様々な相談への対応などを実施してきたところである。

今後とも、創意工夫をしながら、各種事業を着実に実施し、高齢者の方々が、いきいきと充実した生活を送れるような社会の実現に向け、更なる努力を重ねていく必要がある。

法人の設立年月日

平成元年7月1日

定款に定める目的

この法人は、長寿社会についての意識啓発及び高齢者の生きがいと健康づくりの推進等に関する事業を行い、もって「ぬくもりと活力のある長寿社会」の建設に資することを目的とする。

定款に定める事業内容

- (1) 明るい長寿社会づくりについての普及啓発に関する事業
- (2) 高齢者の生きがいと健康づくりを推進するための組織づくりに関する事業
- (3) 高齢者の社会活動の振興のための指導者等の育成に関する事業
- (4) 高齢者総合相談センターの受託運営に関する事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

所管官庁に関する事項

徳島県監察局評価検査課

主たる事務所

徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合センター2階

職員に関する事項（平成28年3月31日現在）

職員数 15名

役員等に関する事項（平成28年3月31日現在）

<評議員>

氏名	現職
伊勢悦子	徳島県民生委員児童委員協議会会長
岩崎啓二	徳島県市長会事務局長
岡田好史	一般社団法人徳島県銀行協会会長
小田隆伸	徳島商工会議所常務理事
神子稔邦	徳島県青年連合会事務局長
栗尾銭二郎	徳島県健康生きがいつくりアドバイザー協議会会長
葉久真理	国立大学法人徳島大学大学院教授
橋本典子	徳島県中小企業団体中央会総務課課長
藤田育美	一般財団法人徳島県婦人団体連合会会長
細井孝子	特定非営利活動法人とくしま県民活動プラザ常務理事兼事務局長
三谷茂樹	徳島県農業協同組合中央会常務理事
森田昇	一般社団法人生命保険協会徳島県協会地方事務局長
森本佳広	日本労働組合総連合会徳島県連合会会長
松本聡	徳島県商工会連合会事務局長
横井順子	徳島県町村会総務課主幹

<代表理事>

氏名	現職
飯泉嘉門	公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会理事長 徳島県知事

<業務執行理事>

氏名	現職
榎茂	公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会専務理事
中村章人	公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会常務理事

<理 事>

氏 名	現 職
飯 泉 嘉 門	徳島県知事
伊 丹 一 夫	公益財団法人徳島県老人クラブ連合会会長
大 谷 初 美	四国放送株式会社ラジオ局ラジオ編成制作部部長職
梶 浦 豊 子	社会福祉法人徳島県社会福祉協議会評議員
北 川 浩一郎	日本放送協会徳島放送局営業部部長
榊 茂	公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会専務理事
佐 藤 修 斎	一般社団法人徳島県歯科医師会副会長
篠 原 静	公益社団法人徳島県看護協会監事
中 村 章 人	公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会常務理事兼事務局長
中 村 真由美	一般社団法人徳島県医師会事務局
中 山 昌 作	公益財団法人徳島県体育協会副会長
坂 東 喜 夫	徳島県シルバー大学校徳島校OB会顧問
船 越 知	一般社団法人徳島新聞社編制局次長
南 博	一般社団法人徳島県薬剤師会顧問
米 田 潤 二	特定非営利活動法人徳島県レクリエーション協会会長

<監 事>

氏 名	現 職
河 口 正 道	徳島県会計管理者
板 東 豊 彦	株式会社徳島銀行常務取締役

II 事業活動

1 概要

(1) 公1

情報誌の発行や高齢者の生きがいと健康づくりの推進，世代間・地域間交流などを目的とするイベントの開催などを通じて，広く県民に明るい長寿社会づくりについての啓発を行う事業

ア 長寿社会啓発事業（高齢者糖尿病予防対策推進事業を含む。）

情報誌「いのち輝く」（年間3回（夏号（平成27年5月15日），秋号（9月15日），春号（1月15日））各4,200部発行）及び当協議会のHP等を通じて，長寿社会関係の様々な情報を収集・提供することにより，明るい長寿社会づくりの取組みについて広く県民に対して意識の高揚を図った。

イ 徳島県健康福祉祭の開催及び全国健康福祉祭への選手等派遣事業

高齢者自身が参加するスポーツ・文化の交流イベントや，小学生からの長寿社会に関する作文・絵の募集，高齢者美術展などを盛り込んだ「徳島県健康福祉祭（徳島県との共催）」を平成27年10月24日を中心に徳島市で開催。来場者数（スポーツ・文化交流大会3,439人），出品数（小学生の作文1,393点，小学生の絵208点，高齢者美術展140点）となった。また県南部・県西部において「県健康福祉祭サテライト大会」を開催し，「地方からの参加者にも身近で親しみやすい」大会とし，事業効果を県内すみずみに波及させるよう取り組んだ。当大会開催により高齢者の生きがいと健康づくりを推進するとともに，県民を挙げて「ぬくもりと活力のある長寿社会づくり」に取り組む必要性を普及啓発した。

また，高齢者を中心とするスポーツ，文化，健康と福祉の祭典である「全国健康福祉祭（厚生労働省，開催地自治体，（一財）長寿社会開発センター主催，スポーツ庁共催）」が山口県で平成27年10月17日から10月20日までの4日間開催され，146名の選手団を派遣した。

<事業実施の財源>

長寿社会啓発事業（高齢者糖尿病予防対策推進受託事業含む。）は，徳島県からの「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費補助金」，「高齢者糖尿病予防対策推進業務委託金」により実施。また，情報誌は関係機関等への無償配布以外に1部300円で一般書店等での販売も行っており，その収益を経費に充当している。

徳島県健康福祉祭の開催及び全国健康福祉祭への選手等派遣事業は，徳島県からの「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費補助金」により実施。

(2) 公2

高齢者自身が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるよう，能力の再開発を支援するとともに，社会活動の振興のための指導者として活躍できる人材を育成する事業

ア シルバー大学校の開講事業

高齢者自身が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるよう，能力の再開発を支援し地域福祉を推進するリーダーを養成する事業。平成27年度で第35期を迎え，徳島校，鳴門校など県下各地に9校で講座を開講。福祉，社会経済などの教養科目と歴史文化，ICT，防災などの選択科目を学習。学習時間は，年間30日，120時間。534名が入学し，507名が卒業（卒業率94.9%）した。入学金は無料で，授業料は年額5千円。

イ シルバー大学校大学院の開講事業

高齢者自身が生きがいを持って生活し，地域社会の重要な担い手として活躍できる環境づくりを図るため，シルバー大学校の卒業生等を対象にさらに専門的で高いレベルの学習機会を提供し，卒業後は社会貢献活動を推進する人材を養成する事業。平成16年度より開始し平成27年度で第12期を迎えた。歴史文化講座，健康スポーツ講座，ICT講座（4教室），防災講座の4講座で，徳島市，鳴門市，阿南市，北島町，東みよし町で開講。学習時間は，年間

40日160時間。162名が入学し、158名が卒業（卒業率97.5%）した。入学金は無料で、授業料は年額1万円。

ウ 高齢者の生きがいつくり活動促進等事業

主にシルバー大学校大学院の卒業者を対象に、同大学院等で培ってきた知識、技術、経験等を生かし地域貢献、社会貢献を推進する人材を「生きがいつくり推進員」として当協議会に登録。登録者は当協議会が主催するシルバー大学校の講師、補助講師をはじめ、県下小学校のICT授業支援・HP更新支援、阿波十郎兵衛屋敷での観光ボランティアガイド活動、防災人材育成センターでの各種事業のサポーターなど幅広い活動を行った。

この生きがいつくり推進員制度をより充実するため、登録者データベースの充実、生きがいつくり推進員の活動の紹介や関係機関が利用しやすいデータベースの公開（シニア応援サイトの更新）等を実施。

またシルバー大学校卒業生で組織するOB会のネットワークづくり等を推進し、情報交換等により地域貢献活動等のOB会活動を更に充実することを目的に、グランド・ゴルフ交流大会（379名）の開催を支援。

さらに、これまで積極的に活動された「生きがいつくり推進員」49名、シルバー大学校・大学院OB会活動に顕著な功績のある16名に感謝状を贈呈した。

また、ひとり暮らし等の高齢者が住み慣れた地域の中で安心して暮らせるよう、ICTを活用した日常的な支え合い活動の体制づくりを推進することを目的に、阿南市、吉野川市、美馬市、牟岐町の4市町で3日間のパソコン講習会を実施。受講生は阿南市20名、吉野川市30名、美馬市20名、牟岐町15名で、会場は各地域のパソコン設置会場である、阿南市富岡公民館、吉野川市文化研修センター、美馬市脇町庁舎、牟岐町海の総合文化センターで実施。

パソコンの基本操作、ワードの利用（はがき作成）等について学習した。なお、当事業で使用したパソコンは、設置会場と連携し、地域の高齢者、関係団体等へ貸し出しを行い、地域での高齢者同士のパソコンを通じた交流による支え合い体制づくりの推進を図った。

また、地域訪問講座「シルバー大学校がやってくる」を海陽町で開催。住み慣れた地域で学びと交流の機会を提供することで、同地域・同世代の高齢者同士の和が築け、高齢者の人・地域との繋がりを促進できた。なお、今後も「高齢者学びの過疎地」を対象に当協議会が自主企画する地域訪問講座事業を継続的に実施する。

エ 生き生きシニア放送講座開講事業

シルバー大学校等に通学が困難な高齢者等に対し、ケーブルテレビを活用した「自宅で受講できる高齢者向け講座」を提供し、「生きがいつくり」や「地域活動のきっかけづくり」としていただいた。

平成27年10月1日から平成28年3月10日までの期間に、8講座（1回約50分、シルバー大学校等の講座の中から選定委員により選定）を県内全域のケーブルテレビを利用し放送した。受講者数は68名で、概ね半分以上の講座を視聴し、講座の内容や感想を受講手帳に記載・提出した者に終了認定証を交付。受講料は年間1,000円。

オ 関西広域連合・シルバー大学校等連携事業

関西広域連合における構成府県との結び付きを活かし、各府県のシルバー大学校等と連携を図り、在學生と卒業生と交流を促進することにより、高齢者が有する「知識」、「能力」の更なる向上を図るとともに、これまでにない「県境を越えた新たな仲間づくり」や、「新たな生きがいつくり」につなげることを目的に、本県において共同講義「シルバー大学校・大学院OBによる防災ボランティア活動を学ぶ」及び「神山からの地域創生講座」等を開催し、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山からの参加者とともに情報交換と交流を深めた。

<事業実施の財源>

シルバー大学校及び大学院開講事業、生き生きシニア放送講座開講事業は、徳島県からの「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費補助金」及び受講生からの年額授業料（それぞれ5千円、1万円、1千円、共に入学金は無料）を事業費に充当し経費を支弁している。

高齢者の生きがいつくり活動促進等事業、関西広域連合・シルバー大学校等連携事業は、徳島県からの「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費補助金」により実施。

(3) 公 3

高齢者やその家族の広範多岐にわたる相談需要に適切に対応できるよう、専門家の活用や関係機関との連携により、無料で行う相談・助言事業

ア 徳島県高齢者総合相談センター運営事業

徳島県から高齢者総合相談センターの運営を受託し、広範多岐にわたる高齢者やその家族の心配ごと・悩みごとに適切に対応できるよう、当センター相談員による一般相談をはじめ、こころ、法律、医療、税金の相談などの専門的な相談には保健師、弁護士、医師、税理士などの専門相談員を配置し、無料で適切な助言を行った。

電話、来所、電子メールによる相談受付を実施。フリーダイヤルを設置。

所長1名（あいランド次長が兼務）、相談員2名の3名体制。一般相談の他、専門相談日を決め専門相談員5名（保健師、弁護士、医師、看護師、税理士）で対応。

平成27年度相談実績752件（一般相談572件、専門相談180件）（来所相談84件、電話相談667件、電子メール相談1件）（専門相談の内訳：こころ95件、法律43件、内科医療17件、健康・介護・虐待9件、税金16件）

<当該事業の受託理由>

当協議会は、平成元年の設立以来、官民一体となって明るい長寿社会づくりに向けた各種事業を推進することにより、高齢福祉に関する専門性や実績を有するとともに、県、市町村をはじめとする関係機関・関係団体との間に緊密なネットワークを構築し、広域化、多様化、複雑化する高齢者等からの相談需要に適切な対応が図れる体制が整備されている。

また、円滑な相談業務が行えるよう、当協議会の執務室とは別の独立した事務室を構え、事務室内にも仕切りのある相談室を配置していることや、一般相談員2名を常勤的に配備するとともに、法律相談等の専門的な相談にも対応できる体制（専門相談員の配置）を整備し、高齢者及びその家族の多様な相談にワンストップで対応できる体制を有していることなどから、円滑な相談業務が実施可能である。

<事業実施の財源>

徳島県からの「徳島県高齢者総合相談センター運営事業委託金」により実施。

III 法人の管理運営

1 理事会

第9回理事会

開催日	平成27年5月19日（火）
会場	徳島県庁
報告事項	理事の職務の執行状況について
議決事項	①平成26年度事業報告及び決算について ②定時評議員会の招集決定及び提出議案について

第10回理事会

開催日	平成28年3月16日（水）
場所	徳島県庁
報告事項	理事の職務の執行状況について
議決事項	①平成27年度補正予算について ②平成28年度事業計画及び収支予算について ③評議員会の招集決定及び提出議案について ④職員給与規程の改正について

決議の省略

日 時 平成27年4月30日(木)
議決事項 評議員会へ提案する役員の選任に係る理事会案について

(理事)
選任(案) 榊 茂
選任(案) 中村 章人
(監事)
選任(案) 河口 正道

決議の省略

日 時 平成27年5月1日(金)
議決事項 ①業務執行理事の選定について
専務理事 榊 茂
常務理事 中村 章人
②事務局長(重要な使用人)の選定について
選 任 中村 章人

決議の省略

日 時 平成27年6月4日(木)
議決事項 代表理事の選定について

理事長 飯泉 嘉門

決議の省略

日 時 平成27年6月26日(金)
議決事項 評議員会へ提案する理事の選任に係る理事会案について

選任(案) 大谷 初美

決議の省略

日 時 平成27年7月24日(金)
議決事項 評議員会へ提案する評議員の選任に係る理事会案について

選任(案) 三谷 茂樹

決議の省略

日 時 平成27年12月24日(木)
議決事項 特定個人情報の適正な取扱いに関する基本方針及び特定個人情報取扱規程
について

2 評議員会

第9回定時評議員会

開催日 平成27年6月4日(木)
場所 徳島県立総合福祉センター
報告事項 平成26年度事業報告について
議決事項 ①平成26年度決算について
②役員等の選任について

第10回評議員会

開催日 平成28年3月24日(木)
場所 徳島県立総合福祉センター
報告事項 ①平成27年度補正予算について
②平成28年度事業計画及び収支予算について
議決事項 役員報酬について

決議の省略

日時 平成27年5月1日(金)
議決事項 役員選任について

(理事)
選任 榊 茂
選任 中村 章人
(監事)
選任 河口 正道

決議の省略

日時 平成27年6月26日(金)
議決事項 理事選任について

選任 大谷 初美

決議の省略

日時 平成27年7月24日(金)
議決事項 評議員選任について

選任 三谷 茂樹

3 監査

監事監査

実施日・場所
・河口監事：平成27年5月8日(金)(徳島県庁会計管理者室)
・板東監事：平成27年5月8日(金)(徳島銀行本店)
監査対象 平成26年度

IV 附属明細書

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項が存在しないので作成しない。

平成28年5月

公益財団法人とくしま“あい”ランド推進協議会